

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、13～18℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり1トンの水揚げで、前週の20%（前年を下回った）。北松南部地区では、マイワシなどが1日1統当たり18トンの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり20kgの水揚げで、前週の10%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり768kgの水揚げで、前週の3倍（前年を下回った）。ケンサキイカは、壱岐勝本地区では、1日当たり4kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マサバなどが1日1統当たり211kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり421kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり48kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区では、ブリが1日当たり210kgの水揚げで、前週並み（前年を上回った）。野母地区では、マアジが1日1統当たり22kgの水揚げで、前週の1.6倍（前年を上回った）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（3/25～3/30の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、切揚中。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐諸島周辺～能登半島沖で操業。鳥取県西部（沖合船）5日延34隻、総計1,146箱、1航海最高130箱、平均33.7箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～40入。（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-9号 令和3年度 第2回 対馬暖流系マアジ・さば類・いわし類長期漁海況予報」「第4-10号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を発表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>